

# 解剖学 [系統解剖学]

担当講座（分野）： 解剖学講座（機能形態学分野）

第2学年 前期・後期

講義

前期 55.5 時間

後期 34.5 時間

## 一般目標（講義）

ヒトの体の構造を理解するのを目的とするが、単に名称の暗記に終わることなく、形態の普遍性と変異を理解し、形態の意義、構造が存在する理由を個体発生的・系統発生的に理解する。さらに、歯科医師として歯科疾患の治療を行うに際し、局所解剖学的な知識は必要不可欠であるため、臨床上必須な構造の理解と応用力を修得する。

## 講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月6日（金） 1限	佐藤仁助教 （歯科放射線学）	1. 歯に関する解剖学的指標 2. 下顎のデンタル写真の解剖学的指標  歯と歯周組織、下顎骨の口内法X線写真の正常解剖を修得する。	1. 口内法X線撮影の基本的原理を述べる。 2. 歯・歯周組織および下顎骨の肉眼標本とX線画像を対比し、以下の解剖名を指摘する。  歯、歯冠、歯根、エナメル質、象牙質、歯髓腔、歯根膜腔、歯槽硬線、骨梁、栄養管、オトガイ孔、オトガイ棘、オトガイ隆起、下顎管、下顎孔、下顎骨、内斜線、外斜線、顎舌骨筋線
4月6日（金） 2限	藤村朗教授	歯の総論 スケッチの描き方  歯とはなにか、歯の用語、ヒトの臼歯の進化を理解する。 歯のスケッチ法を理解する。	1. 歯の概念を説明できる。 2. 歯の方向用語を説明できる。 3. 歯列を説明できる。 4. 歯の進化を説明できる。 5. 進化と退化を区別できる。 6. 左右側の鑑別点を説明できる。 7. 歯のスケッチが行える。
4月6日（金） 3限	藤村朗教授	上・下顎切歯  ヒトの切歯を理解し、スケッチができる。	1. 切歯の概念を説明できる。 2. 上顎中切歯を説明できる。 3. 上顎側切歯を説明できる。 4. 下顎中切歯を説明できる。 5. 下顎側切歯を説明できる。 6. 上下顎切歯の鑑別点を説明できる。
4月9日（月） 1限	藤村朗教授	上・下顎犬歯  ヒトの犬歯を理解し、スケッチができる。	1. 犬歯の定義を説明できる。 2. 上顎犬歯を説明できる。 3. 下顎犬歯を説明できる。 4. 上下顎犬歯を区別できる。 5. 左右側の鑑別点を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月13日(金) 1限	佐藤仁助教 (歯科放射線学)	<b>3. 上顎のデンタル写真と咬合法の解剖学的指標</b>  上顎の口内法と咬合法によるX線写真の正常解剖を修得する。	1. 上顎骨の肉眼標本とX線画像(口内法、咬合法)を対比し、以下の解剖名を指摘する。  筋突起、口蓋、上顎洞、切歯管、切歯孔、前鼻棘、鼻腔、鼻腔底、鼻中隔、頬骨、頬骨弓、頬骨突起、翼突鉤、梨状孔下縁
4月13日(金) 2限	藤村朗教授	<b>上顎小臼歯</b>  上顎小臼歯を理解し、スケッチができる。	1. 小臼歯の概念を説明できる。 2. 上顎第一小臼歯を説明できる。 3. 上顎第二小臼歯を説明できる。 4. 歯の進化を説明できる。 5. 第一小臼歯と第二小臼歯を区別できる。 6. 左右側の鑑別点を説明できる。
4月16日(月) 1限	藤村朗教授	<b>下顎小臼歯</b>  下顎小臼歯を理解し、スケッチができる。	1. 下顎小臼歯の概念を説明できる。 2. 下顎第一小臼歯を説明できる。 3. 下顎第二小臼歯を説明できる。 4. 歯の進化を説明できる。 5. 第一小臼歯と第二小臼歯を区別できる。 6. 左右側の鑑別点を説明できる。
4月20日(金) 1限	佐藤仁助教 (歯科放射線学)	<b>まとめII-A</b>	1. 頭蓋骨の肉眼標本とX線画像を対比し、ユニット1～3までに修得した解剖学的構造と解剖名の知識を確認する。
4月20日(金) 2限	藤村朗教授	<b>上顎大臼歯</b>  上顎大臼歯の形態と進化、退化を理解し、スケッチができる。	1. 上顎大臼歯の概念を説明できる。 2. 上顎第一大臼歯の特徴を説明できる。 3. 上顎第二大臼歯の特徴を説明できる。 4. 咬合圧の負担を説明できる。 5. 歯の進化と退化の概念を説明できる。 6. 多根歯を説明できる。 7. 左右側の鑑別点を説明できる。 8. 咬頭数と裂溝の関連性を説明できる。 9. 人種差を説明できる。 10. 第一大臼歯と第二大臼歯を区別できる。 11. 第三大臼歯を説明できる。
4月20日(金) 3限	藤村朗教授	<b>下顎大臼歯</b>  下顎大臼歯の形態と進化退化を理解し、スケッチができる。	1. 下顎大臼歯の概念を説明できる。 2. 下顎第一大臼歯の特徴を説明できる。 3. 下顎第二大臼歯の特徴を説明できる。 4. 咬頭の機能を説明できる。 5. 臼歯の進化と退化の概念を説明できる。 6. 咬頭数と裂溝の関連性を説明できる。 7. 左右側の鑑別点を説明できる。 8. 人種差を説明できる。 9. 第一大臼歯と第二大臼歯を区別できる。 10. 第三大臼歯を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月23日(月) 1限	藤村朗教授	永久歯のまとめ	1. 上下顎歯の鑑別点を説明できる。 2. 歯の左右の鑑別点を説明できる。 3. 歯種の鑑別点を説明できる。 4. 歯の特徴を描写できる。
4月27日(金) 1限	佐藤仁助教 (歯科放射線学)	<b>4. 口外法における解剖学的指標</b>  頭部側方向、頭部後前方向、Waters法によるX線写真の正常解剖を修得する。	1. 頭蓋骨の肉眼標本と口外法X線画像(頭部側方向、頭部後前方向、Waters法)を対比し、以下の解剖名を指摘する。  上顎洞、眼窩、鼻腔、鼻中隔、下顎骨、筋突起、下顎枝、下顎頭、頸椎、頬骨、頬骨弓
4月27日(金) 2限	藤村朗教授	<b>乳歯総論</b> <b>上・下顎乳切歯</b>  乳歯の形態的特徴を理解する。 上・下顎乳切歯を理解し、スケッチができる。	1. 乳歯の概念を説明できる。 2. 乳歯の特徴を説明できる。 3. 乳歯の萌出を説明できる。 4. 歯の交換を説明できる。 5. 臼歯結節を説明できる。 6. 原始的形態と歯の進化を関連して説明できる。 7. 乳切歯の特徴を説明できる。 8. 上顎乳中切歯を説明できる。 9. 上顎乳側切歯を説明できる。 10. 下顎乳中切歯を説明できる。 11. 下顎乳側切歯を説明できる。 12. 永久歯との鑑別点を説明できる。 13. 左右側の鑑別点を説明できる。 14. 代生歯胚の発育場所を説明できる。
4月27日(金) 3限	藤村朗教授	<b>上・下顎乳犬歯</b>  上・下顎乳犬歯を理解し、スケッチができる。	1. 乳犬歯の特徴を説明できる。 2. 上顎乳犬歯を説明できる。 3. 下顎乳犬歯を説明できる。 4. 上下顎乳犬歯の区別を説明できる。 5. 代生歯胚の発育場所を説明できる。 6. 永久歯との鑑別点を説明できる。 7. 左右側の鑑別点を説明できる。
5月8日(火) 2限	藤村朗教授	<b>上顎乳臼歯</b>  上顎乳臼歯の形態と進化を理解し、スケッチができる。	1. 上顎乳臼歯の特徴を説明できる。 2. 上顎第一乳臼歯を説明できる。 3. 上顎第二乳臼歯を説明できる。 4. 上顎第一乳臼歯の原始的形態を説明できる。 5. 第二乳臼歯と第一大臼歯の鑑別点を説明できる。 6. 臼歯の進化が説明できる。 7. 左右側の鑑別点が説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月11日(金) 1限	佐藤仁助教 (歯科放射線学)	<b>5. パノラマ像における解剖学的指標</b>  パノラマX線写真の正常解剖を修得する。	1. 頭蓋骨の肉眼標本とパノラマ X 線画像を対比し、以下の解剖名を指摘する。  下顎骨、下顎枝、筋突起、下顎切痕、関節突起、下顎頭、顎関節、下顎管、オトガイ孔、下顎孔、鼻腔、上顎洞、頬骨突起、頬骨後面、翼口蓋窩、硬口蓋、茎状突起、頸椎、舌骨、気道、障害陰影、パノラマ無名線
5月11日(金) 2限	藤村朗教授	<b>頭部エックス線規格写真(セファログラム)と頭部計測基準点</b>	1. 頭蓋骨の肉眼標本と頭部エックス線規格写真を対比し、矯正歯科の基準点を理解する。
5月17日(木) 1限	藤村朗教授	<b>下顎乳臼歯</b>  下顎乳臼歯の形態と進化を理解し、スケッチができる。	1. 下顎乳臼歯の特徴を説明できる。 2. 下顎第一乳臼歯を説明できる。 3. 下顎第二乳臼歯を説明できる。 4. 第一乳臼歯の原始的形態を説明できる。 5. 第二乳臼歯と第一大臼歯の鑑別点を説明できる。 6. 左右側の鑑別点を説明できる。
5月18日(金) 1限	佐藤仁助教 (歯科放射線学)	<b>まとめ II-B</b>	1. 頭蓋骨の肉眼標本と X 線画像を対比し、ユニット 4～5 までに修得した解剖学的構造と解剖名の知識を確認する。
5月18日(金) 2限	藤村朗教授	<b>歯髓腔 歯列、咬合</b>  歯髓腔の形態と加齢変化を理解する。 歯列弓の形態、大きさ、上下顎の咬合状態を理解する。	1. 歯髓腔の概念を説明できる。 2. 歯の外景と歯髓腔の関連性を説明できる。 3. 各歯について歯髓腔形態を説明できる。 4. 歯髓腔の加齢変化を説明できる。 5. 髓室と根管の区別が説明できる。 6. 歯根数と根管数の関連性を説明できる。 7. 各歯について根管の特徴を説明できる。 8. 日本人の歯列の形態、大きさの特徴を説明できる。 9. 総義歯作成時の人工歯の配列基準を説明できる。 10. 上・下顎の咬合状態を顎関節の動きと合わせて説明できる。 11. 顎関節と歯列の咬合状態から、咬合器の構造と原理を説明できる。
5月25日(金) 1限	佐藤仁助教 小豆島正典教授 (歯科放射線学)	<b>まとめ II-C</b>	1. ユニット 1～5 までに修得した解剖学的構造と解剖名の知識を確認する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月25日(金) 2限	藤村朗教授	<b>歯の解剖と歯科臨床</b>  歯の形態が歯科臨床においてどのように利用されているかを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 咬合面裂溝形態と咬合面齶蝕修復形態の関係を説明できる。</li> <li>2. 歯頸隆線、接触点、辺縁隆線と食物の流れについて説明できる。</li> <li>3. 歯根の数と根管の数、根管形態と歯内療法を関連つけて説明できる。</li> </ol>
5月25日(金) 3限	藤村朗教授	<b>個人識別における歯科の役割</b>  デンタルチャートの記入項目を把握する。照合作業の実際を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯種による形態の違いを説明できる。</li> <li>2. 歯種ごとの形態と個人識別の可能性を説明できる。</li> <li>3. デンタルチャートに記入できる。</li> <li>4. 岩手県で開発した「36検索」をコンピュータで体験し、照合判定ができる。</li> </ol>
6月1日(金) 2限	藤村朗教授	<b>顎関節と歯の形態</b>  咬合器の構造と顎関節の違いを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平均値咬合器と半調節性咬合器の違いを説明できる。</li> <li>2. フェイスボウ・トランスファーができる。</li> <li>3. 歯の形態と顎関節の運動範囲の関係を説明できる。</li> </ol>
6月7日(木) 1限	藤村朗教授	<b>体液の循環：循環系の概論</b>  脈管の分類、特徴、機能を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 動・静脈、リンパ管の概念を説明できる。</li> <li>2. 動・静脈、リンパ管の形態区別、機能の違いを説明できる。</li> <li>3. 末梢部における物質透過の概念を説明できる。</li> <li>4. 太さによる脈管の区分と、機能と関連付けができる。</li> </ol>
6月8日(金) 2限	藤村朗教授	<b>脈管学：心臓</b>  心臓の発生、形態、機能、神経支配を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 血管の発生過程における心臓の発生の特徴を説明できる。</li> <li>2. 胎生循環と心臓の構造の関係を説明できる。</li> <li>3. 心臓の形態学的特徴から、各部位の機能を説明できる。</li> <li>4. 心臓の拍動の原理を神経支配の観点から説明できる。</li> <li>5. 心臓の弁の存在する位置及び形態の違いを説明できる。</li> </ol>
6月13日(水) 3限	藤村朗教授	<b>脈管学：大動脈</b>  大動脈弓の枝、胸・腹部大動脈の枝および分布領域を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大動脈弓の枝の特徴、左右の違いを説明できる。</li> <li>2. 胸部大動脈の走行の特徴及び枝を説明できる。</li> <li>3. 胸部大動脈と腹部大動脈の移行部について説明できる。</li> <li>4. 腹部大動脈の走行及び枝を説明できる。</li> <li>5. 腹部大動脈の枝の対性、不對性を説明できる。</li> <li>6. 腹腔動脈の分布域を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月13日(水)  4限	藤村朗教授	<b>脈管学：上下肢の動脈</b>  上肢の動脈と下肢の動脈の相同性と分布の特徴を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>鎖骨下動脈の走行の特徴を腕神経叢との関係で説明できる。</li> <li>鎖骨下動脈の分岐型を説明できる。</li> <li>腋窩動脈の区分と小胸筋の関係を説明できる。</li> <li>腋窩動脈の分布域を説明できる。</li> <li>腋窩隙との関係を神経の走行と合わせて説明できる。</li> <li>上腕、前腕、手に分布する動脈の走行と特徴を説明できる。</li> <li>総腸骨動脈の分岐位置を骨学的に説明できる。</li> <li>外腸骨動脈と大腿動脈の区分を説明できる。</li> <li>内腸骨動脈の分布域とその特徴を説明できる。</li> <li>殿部の栄養血管の走行と分布域を説明できる。</li> <li>大腿、下腿、足に分布する動脈の走行と特徴を説明できる。</li> </ol>
6月14日(木)  1限	藤村朗教授	<b>脈管学：体液の回収経路(静脈系)</b>  動脈と静脈の形態的相違点、動脈の走行との違いを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>動脈と静脈の形態学的相違点を説明できる。</li> <li>動脈には認められない静脈の走行の特徴を説明できる。</li> <li>胎生循環における静脈の特徴を説明できる。</li> <li>側副循環路の皮膚直下、腹腔内における連絡を説明できる。</li> <li>頭蓋腔内と外との連絡を側副循環の観点で説明できる。</li> <li>海綿静脈洞の側副循環路としての意義を説明できる。</li> <li>静脈洞の特徴を説明できる。</li> </ol>
6月15日(金)  2限	藤村朗教授	<b>脈管学：体液の回収経路(リンパ系)</b>  動脈と静脈の形態的相違点、動脈の走行との違いを理解する。 機能としての免疫を理解し、そのためのリンパ組織、特に所属リンパ節、リンパ管構築を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>免疫の基本を説明できる。</li> <li>リンパ球産生能を持つリンパ組織の位置、構造を説明できる。</li> <li>各臓器の所属リンパ節を説明できる。</li> <li>ワルダイエルの咽頭輪を構成する扁桃を説明できる。</li> <li>リンパ管の機能としての吸収能を理解し、各臓器のリンパ管構築の特徴を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月22日(金) 2限	藤村朗教授	<b>脈管学：外頸動脈の終枝、(顎動脈、浅側頭動脈)</b>  顎顔面に分布する動脈の分枝と範囲を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顎動脈の区分および分布領域を説明できる。</li> <li>2. 顎動脈の特徴と人種差を説明できる。</li> <li>3. 口蓋に分布する動脈の走行経路を説明できる。</li> <li>4. 伝達麻酔時の注意すべき顎動脈の走行経路を説明できる。</li> <li>5. 浅側頭動脈の分岐および走行経路を説明できる。</li> <li>6. 浅側頭動脈の動脈内注入法における臨床的意義を説明できる。</li> </ol>
6月25日(月) 1限	藤村朗教授	<b>脈管学：外頸動脈の枝(顔面動脈、舌動脈)内頸動脈</b> 外頸動脈の分枝と範囲、内頸動脈の走行を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顔面動脈の分岐および走行経路を説明できる。</li> <li>2. 舌動脈の分岐および走行経路を説明できる。</li> <li>3. その他の外頸動脈枝の分布および経路を説明できる。</li> <li>4. 脳の栄養血管、ウィリスの動脈輪を説明できる。</li> </ol>
6月26日(火) 2限	藤村朗教授	<b>脈管学：頭頸部の静脈</b>  頭頸部の回収経路としての静脈を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内頸静脈の枝と回収域を説明できる。</li> <li>2. 顎顔面の静脈の特徴を説明できる。</li> <li>3. 翼突静脈叢について説明できる。</li> <li>4. 頭蓋腔内と外との連絡を側副循環の観点で説明できる。</li> <li>5. 海綿静脈洞の側副循環路としての意義を説明できる。</li> <li>6. 静脈洞の特徴を説明できる。</li> </ol>
6月29日(金) 2限	鍵谷忠慶助教	<b>中枢神経：脊髄、延髄・橋</b>  中枢神経の構成と発生を理解する。 脊髄、延髄、橋の構造を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神経管の発生について説明できる。</li> <li>2. 中枢神経の区分を説明できる。</li> <li>3. 分界溝の意義を説明できる。</li> <li>4. 神経管と脳室について説明できる。</li> <li>5. 脳神経核の位置について説明できる。</li> </ol>
7月13日(金) 2限	藤村朗教授	<b>脈管学：頭頸部のリンパ管</b>  頭頸部の回収経路としてのリンパ管を理解する。 顎顔面領域の所属リンパ節を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顎顔面の所属リンパ節を説明できる。</li> <li>2. 口腔領域の所属リンパ節を説明できる。</li> <li>3. ワルダイエルの咽頭輪を構成する扁桃、リンパ節を説明できる。</li> <li>4. 腫瘍におけるリンパ管の重要性を説明できる。</li> </ol>
7月20日(金) 2限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教	<b>脈管学：頭頸部の脈管のまとめ</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭頸部、全身の動脈、静脈の走行と分布域を説明できる。</li> <li>2. 頭頸部、全身のリンパの走行と分布域を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月6日(木) 2限	鍵谷忠慶助教 藤村朗教授	<b>中枢神経：小脳、中脳・間脳</b>  中枢神経の構成と発生を理解する。 小脳の構造と神経路を理解する。 中脳・間脳の構造と神経路を理解する。 自律神経の中枢を理解する。 神経分泌を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小脳の発生を説明できる。</li> <li>2. 小脳の新、旧、原の区分を説明できる。</li> <li>3. 小脳脚の構成と機能を説明できる。</li> <li>4. 構成細胞の分布を説明できる。</li> <li>5. 小脳核の位置について説明できる。</li> <li>6. 小脳の伝導路を説明できる。</li> <li>7. 中脳の発生と新旧の区分を説明できる。</li> <li>8. 四丘体の構成と機能を説明できる。</li> <li>9. 視覚路を説明できる。</li> <li>10. 聴覚路を説明できる。</li> <li>11. 大脳脚を説明できる。</li> <li>12. 大脳基底核の内容を説明できる。</li> <li>13. 視床の位置と機能を説明できる。</li> <li>14. 神経分泌について説明できる。</li> </ol>
10月5日(金) 2限	鍵谷忠慶助教 藤村朗教授	<b>中枢神経：終脳</b> 中枢神経の構成と発生を理解する。 終脳の発生と進化を理解する。 終脳の構造と機能局在を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 終脳の発生を説明できる。</li> <li>2. 終脳の新、旧の区分を説明できる。</li> <li>3. 内包の分化を説明できる。</li> <li>4. 島を説明できる。</li> <li>5. 大脳回の構成と機能を説明できる。</li> <li>6. 内包の位置と機能を説明できる。</li> <li>7. 島の機能を説明できる。</li> <li>8. 神経管と脳室について説明できる。</li> <li>9. 大脳皮質を説明できる。</li> <li>10. 大脳基底核の内容を説明できる。</li> <li>11. 海馬の位置と機能を説明できる。</li> </ol>
10月5日(金) 3、4限	中沢勝宏 非常勤講師 藤村朗教授	<b>顎関節の構造、動きと咬合</b>  咬合理論と顎関節の構造を臨床的に理解する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顎関節の基本構想を説明できる。</li> <li>2. 顎関節の加齢変化の特徴を説明できる。</li> <li>3. 補綴臨床における咬合理論を挙げることができる。</li> <li>4. 各咬合理論の相違点を説明できる。</li> <li>5. 咬合理論に関係する顎関節の構造と機能を説明できる。</li> <li>6. 咬合理論に関係する顎関節の運動を制御する機構を説明できる。</li> </ol>
10月11日(木) 2限	鍵谷忠慶助教 藤村朗教授	<b>末梢神経：脊髄神経・頸神経叢</b>  情報収集と伝達器官としての末梢神経の特性、脊髄神経と脳神経の相違を理解する。 脊髄神経の特徴と頸神経叢の構成と支配領域を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 末梢神経の基本を説明できる。</li> <li>2. 末梢神経の相違を説明できる。</li> <li>3. 末梢神経の分布を説明できる。</li> <li>4. 脳神経と脊髄神経を区別できる。</li> <li>5. 脊髄神経の構造と特徴が説明できる。</li> <li>6. 知覚神経の特徴と分布域が説明できる。</li> <li>7. 運動神経の特徴と分布域が説明できる。</li> <li>8. 頸神経叢の構成が説明できる。</li> <li>9. 頸部の皮膚知覚を説明できる。</li> <li>10. 舌骨下筋・横隔膜の神経支配を説明できる。</li> <li>11. 喉頭の筋肉の神経支配を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月19日(金) 2、3限	宮地建夫 非常勤講師 藤村朗教授	<b>欠損歯列の臨床評価法</b>  歯科臨床における咬合の重要性を理解する。	1. 臨床における咬合論を実際の症例を供覧して疑似体験する。
10月22日(月) 2限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教	<b>末梢神経：脊髄神経・腕神経叢</b>  腕神経叢の構成と支配領域と機能を理解する。	1. 腕神経叢の構成と支配領域を説明できる。 2. 脊髄神経の基本構造を説明できる。 3. 神経幹の枝の構成と機能を説明できる。 4. 神経束の構成と機能を説明できる。
10月26日(金) 2限	鍵谷忠慶助教 藤村朗教授	<b>末梢神経：脊髄神経・腰神経叢・仙骨神経叢</b>  腰・仙骨神経叢の構成と支配領域と機能を理解する。	1. 腰神経叢の構成と支配領域を説明できる。 2. 仙骨神経叢の構成と支配領域を説明できる。 3. 下肢の神経支配を説明できる。 4. 骨盤内臓の神経支配を説明できる。 5. 腕神経叢と仙骨神経叢の相違を説明できる。 6. 神経叢と反射について説明できる。
11月2日(金) 2限	鍵谷忠慶助教 藤村朗教授	<b>自律神経</b>  自律神経の構成と機能を理解する	1. 植物性器官に分布する神経を説明できる。 2. 交感神経の基本構造を説明できる。 3. 副交感神経の基本構造を説明できる。 4. 自律神経節の構成と機能を説明できる。 5. 節前線維と節後線維の相違を説明できる。 6. 交感神経幹を説明できる。 7. 自律神経の伝達物質を説明できる。
11月9日(金) 2限	鍵谷忠慶助教 藤村朗教授	<b>神経学：末梢神経 (脳神経Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ)</b>  脳神経Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ、支配領域と機能を理解する。	1. 脳神経の機能を説明できる。 2. 眼の筋肉の支配神経を説明できる。 3. 視覚伝達を説明できる。
11月12日(月) 2限	鍵谷忠慶助教 藤村朗教授	<b>神経学：末梢神経 (脳神経Ⅶ、Ⅷ)</b>  顔面神経と内耳神経の走行と機能を理解する。	1. 顔面神経の構成と作用を説明できる。 2. 顔面神経の経過を説明できる。 3. 副交感神経の機能を説明できる。 4. 第二鰓弓の発生と分布神経を説明できる。 5. 顔面神経の障害部位による機能障害を区分して説明できる。 6. 表情筋の神経支配を説明できる。 7. 聴覚と平衡感覚を説明できる。 8. 唾液腺の神経支配を区分して説明できる。
11月16日(金) 2限	鍵谷忠慶助教 藤村朗教授	<b>神経学：末梢神経 (脳神経Ⅸ～Ⅺ)</b>  舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経と頸神経叢の支配領域と機能を理解する。	1. 舌咽神経の構成と支配領域を説明できる。 2. 血圧と脈拍の調節を説明できる。 3. 副交感神経の機能を説明できる。 4. 耳下腺の神経支配を説明ができる。 5. 喉頭の筋肉の神経支配を説明できる。 6. 心臓、肺、消化器の神経支配を説明できる。 7. 舌筋の神経支配を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月19日(月) 1、2限	鍵谷忠慶助教 藤村朗教授	<b>神経学：末梢神経 (脳神経 V1、V2)</b>  眼神経、上顎神経の経過と支配領域を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上顎神経の支配領域を説明できる。</li> <li>2. 上顎神経の経過を説明できる。</li> <li>3. 上顎神経の枝の構成と機能を説明できる。</li> <li>4. 上顎神経の神経節と機能を説明ができる。</li> <li>5. 口蓋の神経支配を説明できる。</li> <li>6. 上顎歯牙の神経支配を説明できる。</li> <li>7. 顔面皮膚の神経支配を説明できる。</li> <li>8. 涙腺の神経支配を説明できる。</li> </ol>
11月26日(月) 2限	鍵谷忠慶助教 藤村朗教授	<b>神経学：末梢神経 (脳神経 V3)</b>  下顎神経の経過と支配領域を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下顎神経の支配領域を説明できる。</li> <li>2. 下顎神経の経過を説明できる。</li> <li>3. 下顎神経の枝の構成と機能を説明できる。</li> <li>4. 下顎神経の神経節と機能を説明ができる。</li> <li>5. 舌の神経支配を説明できる。</li> <li>6. 下顎歯の神経支配を説明できる。</li> <li>7. 顔面皮膚の神経支配を説明できる。</li> <li>8. 唾液腺の神経支配を説明できる。</li> <li>9. 咀嚼筋の神経支配を説明できる。</li> <li>10. 第一鰓弓筋の神経支配を説明できる。</li> </ol>
11月30日(金) 2限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教	<b>神経学(中枢神経、末梢神経)のまとめ</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 12脳神経の走行を説明できる。</li> <li>2. 三叉神経、顔面神経、舌咽神経の分布領域を説明できる。</li> </ol>
12月7日(金) 2限	安藤禎紀助教 藤村朗教授	<b>口腔内臓：口腔とは</b>  口腔の範囲を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口唇の範囲を説明できる。</li> <li>2. 口腔の区分(固有口腔と口腔前庭)を説明できる。</li> <li>3. 口腔、鼻腔、咽頭のつながりを説明できる。</li> <li>4. 口腔の由来を説明できる。</li> </ol>
12月10日(月) 2限	安藤禎紀助教 藤村朗教授	<b>口腔内臓：口腔粘膜</b>  口腔を被っている粘膜の種類と機能を理解する。 歯肉の構造、歯周組織と歯の結合を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 粘膜の分類を説明できる。</li> <li>2. 歯肉粘膜の区分とその機能を説明できる。</li> <li>3. 舌乳頭をその機能から説明できる。</li> <li>4. 味蕾の存在する舌乳頭を説明できる。</li> <li>5. 保護粘膜を有する口腔臓器を示すことができる。</li> <li>6. 歯肉の区分を説明できる。</li> <li>7. 歯周疾患罹患時の歯周組織の変化を説明できる。</li> <li>8. 歯の萌出から、歯と歯肉上皮の結合を形態的に説明できる。</li> <li>9. 歯肉、歯周組織の老化における変化を説明できる。</li> <li>10. 人工歯根埋植時の歯周組織の変化を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月14日(金) 2限	安藤禎紀助教 藤村朗教授	<b>口腔内臓：舌</b>  舌を構成する筋肉、運動・知覚神経支配、味覚神経を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内舌筋、外舌筋の起始、停止、機能を説明できる。</li> <li>2. 舌下神経の走行経路と分布域を説明できる。</li> <li>3. 知覚神経の種類と支配領域を説明できる。</li> <li>4. 味覚を支配する神経の走行経路を説明できる。</li> <li>5. 味覚障害と他の疾患との組み合わせにより、障害部位を特定できる。</li> </ol>
12月17日(月) 1限	安藤禎紀助教 藤村朗教授	<b>口腔内臓：口蓋</b>  口蓋を構成する骨、筋肉を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 硬口蓋を構成する骨を説明できる。</li> <li>2. 軟口蓋を構成する筋肉の構成と支配神経を説明できる。</li> <li>3. 軟口蓋の筋肉と咽頭、喉頭の筋肉との関係を説明できる。</li> <li>4. 口蓋の構造と総義歯作成に関する注意点を説明できる。</li> </ol>
1月11日(金) 2限	安藤禎紀助教 藤村朗教授	<b>口腔内臓：咽頭</b>  咽頭を構成する筋肉を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 咽頭を構成する筋肉を説明できる。</li> <li>2. 口輪筋との関係を説明できる。</li> <li>3. 嚥下の機構を説明できる。</li> </ol>
1月25日(金) 2限	安藤禎紀助教 藤村朗教授	<b>口腔内臓：唾液腺</b>  唾液腺の種類と支配神経を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 唾液腺の構造および分類を説明できる。</li> <li>2. 唾液腺の神経支配を、神経の走行と障害を関連づけて説明できる。</li> </ol>
1月28日(月) 2限	藤村朗教授	<b>口腔内臓：臨床との関連性</b>  歯科補綴、歯科矯正、歯科放射線、口腔外科に関連する臨床解剖学を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 印象採得に関連する解剖学的構造を説明できる。</li> <li>2. 頭蓋骨の基準平面、計測点を説明できる。</li> <li>3. X線セファログラムの計測点を説明できる。</li> <li>4. 手術の際の切開線の位置について説明できる。</li> <li>5. 頸部廓清に関連するリンパ節および転移経路について説明できる。</li> </ol>

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	図説口腔解剖学 3～5 巻 3 版	上條雍彦 著	アナトーム社	2006 年
教	自分でつくるぬりえ 口 腔解剖学ノート 4 版	高橋和人、野坂洋一郎 編著	学建書院	1998 年
教	分冊解剖学アトラス 6 版 全 3 冊	Werner Platzer ほか著、平田幸 男 訳	文光堂	2011 年
参	グレイ解剖学アトラス	R.L.Drake ほか著、塩田浩平 訳	エルゼビア・ジャ パン	2008 年
参	口腔解剖学	井出吉信ほか編	医歯薬出版	2009 年
参	分担 解剖学 改訂 11 版 全 3 巻	森於菟ほか著	金原出版	1982 年
参	日本人体解剖学 19 版 全 3 巻	金子丑之助 原著	南山堂	2000 年
参	ヴォルフ カラー 人体解剖学図譜	Petra Kopf-Maier、井上貴央 編	西村書店	2011 年

成績評価方法

単元ごとの小テスト（エックス線解剖学、脈管学、中枢神経、末梢神経、永久歯・歯列・咬合）、前期試験（乳歯）、後期試験（内臓学）の各試験を 70%、歯の解剖のスケッチ・レポート（20%）、出欠（10%）の合計で 65%以上を合格とする。欠席届のない欠席は大きく減点する。

オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
藤村 朗	B・i	月～金	随時	不在の時には教室員に伝言または e-mail を利用する。 akifuji@iwate-med.ac.jp
安藤 禎紀	B・i	月～金	随時	不在の時には教室員に伝言または e-mail を利用する。 yoando@iwate-med.ac.jp
鍵谷 忠慶	B・i	月～金	随時	不在の時には教室員に伝言または e-mail を利用する。 tkagiya@iwate-med.ac.jp

授業に使用する機械・器具と使用目的

[解剖学]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
めがね不要立体映像表示 器	NSL CD2000-5	1	基礎実習・研究用機器	実習において、映像を立体的に把握 させるのに用いる。
電子複写機	MEDIO IR3300F	1	基礎実習・研究用機器	講義の資料の作成
高精細デジタルフィルムレコーダ ー一式	PERSONAL LFR PRO	1	視聴覚用機器	講義のプレゼンテーション用

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
ネットワークアタッチドストレージシステム一式	NAS PNS403-1000	1	基礎実習・研究用機器	講義資料の一括管理と資料の作成
デジタルマイクロスコープ一式	DS-3UX	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料提示用
顕微鏡用デジタルカメラ一式	DS-5Mc-U2 他	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成と提示用
パソコン	MA970J/A ZOEM	1	基礎実習・研究用機器	講義の視覚素材資料作成
大型2周波超音波洗浄器	7-5648-12	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習器材の洗浄
デジタル一眼レフカメラ一式	D700	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習遺体の破格症例の画像記録
パソコン一式	XPS730	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習遺体の破格症例のデータ保存及び画像処理 切片からの3D再構築・画像作成
ハードディスク	HDL-GTR3.0	1	基礎実習・研究用機器	解剖実習の画像データ一括保存
A3スキャナ	ES-10000G	1	基礎実習・研究用機器	大型切片画像データの入力
Smart-UPS 750 ClubAPC 限定モデル	SUA750JBCL	1	基礎実習・研究用機器	講義及び研究データ保存用
冷蔵庫	SR361T	1	基礎実習・研究用機器	実験・実習試料及び試薬の保存
ノートパソコン一式	CFS9LYFEDR	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料提示用
デジタルマイクロスコープ	VHX-1000/10 20	1	基礎実習・研究用機器	実験・実習資料のデジタルデータ採取・保存。講義での供覧